

令和元年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書 NO6 H30/12~R1/11

事業名: 秩父 千鹿谷郷 ひなた村 特産品開発(H27-28)

団体名: 千鹿郷 ひなた村



事業の目的・内容

限界集落に暮らす人々のグループ「千鹿谷郷 ひなた村」の持っている知恵・技術などを活かし、“いなな”の奥深い文化の香りのある食材「山椒」等を利用した特産品を開発、ブランド化することにより地域の活性化を図る。山椒の木の育成から若い芽の生産および地元PRを行う。



今までの活動状況

○前年度末までに植えた山椒の木の管理・育成

千鹿谷、荒川の畑で除草、刈り払い、割竹支柱の作成・取付、アゲハ幼虫・鹿の食害、芯喰い虫の点検・防除等を実施した結果アゲハ幼虫・鹿の食害はなし。初年度植栽の73本の約56本が活着、生育中。拡大生産を目指し三か所に150本を植えた。活動延日数40日。活動延人数92人。

○次年度以降の苗の育成

千鹿谷に於いて、今年3月にトレーに播種し、密集状態で発芽・生長した苗を6月苗床に300本移植した。昨年から育てている幼苗の風害を防止するため全数割竹の支柱を取り付け、アゲハ蝶の幼虫の食害を防ぐためネットで覆った。また、夏の日除けとして遮光シートも取り付けた。この結果今年は200本以上の優良苗が得られ、150本の本移植となった。来年度用には200本程度が残っており来年11月に本植えの予定。来年用の種は9月14日に1300ml確保した。



平成27年に植えた千鹿谷の割竹支柱の点検、刈り払い、



防蝶ネット、遮光シート張り6月

○山椒活用の試作会

4月20日、みどりの村、29名参加 佃煮作り 若芽使用量4.2kg。

7月13日、影森公民館、16名参加 ちりめん山椒作り 山椒の実使用量1.0kg。

○柚子活用の試作会

11月23日、影森公民館 15名参加 ゆず果汁、ジャム、わた煮、種を利用した化粧水作り。



山椒佃煮作り..若芽の摘み取り みどりの村



ちりめんじゃこ作り

ゆず果汁、ジャム、わた煮作り



## これからの活動・行事

### 事業の継続

- 山椒の木の管理・育成
  - ・割竹支柱の交換兼枝の誘引ならびに剪定.. 冬期に実施
  - ・育成中苗の点検・観察.. 来春まで定着状況を観察、必要により防寒・防風対策を実施
  - ・冬期防除.. 12月膏薬病防止のため石灰硫黄合剤の散布
- 次年度以降の新苗の育成準備
  - ・種の播種 R2年3月にトレーに種蒔き。6月に苗床へ移植。除草、ネット掛け、遮光シート張 等
- 2年生苗の本植
  - ・拡大予定地にR2年11月に200本の植付。生産地整備、刈り払い。
- 生産地の拡大検討
  - ・荒れ地の刈り払い整備、山椒畑地としての適否確認
- 山椒、ゆずの本格活用、販売の検討。



刈り払い.. 植え付け2年後



R2年度植え付け予定地



刈り払い後11月本移植した拡大予定地